

第 1 回委員会の意見概要（追加提出意見含む）

テーマ	意見概要
環境	・ ゴミのない美しいまちづくりの推進 ・ 自然を身近に感じる環境づくり（里山，環境の森など） ・ エココミュニティをつくる ・ 「環境」先進区としての独自性あるまちの創造＜追加意見＞ ・ 低負荷の新交通の導入＜追加意見＞ ・ 太陽光発電の奨励＜追加意見＞
魅力・個性	・ 地域の魅力を知り，伝え，守り，活用する ・ 歴史，自然資源を活用した伏見の P R ・ 美しい景観を守り，創出する ・ まちに緑を増やすための街路樹植栽＜追加意見＞ ・ 地域の歴史的資源を積極的に広報周知して観光地として売り込む（実行委員会を立ち上げ，観光会社に働きかける）＜追加意見＞
活力（伏見力）	・ 観光資源を組み合わせる観光地として発信する ・ 観光インフラの整備 ・ 巨椋池干拓地を農業（農産物）で P R する ・ 商業振興によるまちの活力の創造 ・ 伏見稲荷から大岩山への観光ルートの整備＜追加意見＞ ・ 地域資源を活かした観光インフラの充実＜追加意見＞ ・ 伏見の歴史的資源を活用することで地域経済の活性化を図る＜追加意見＞
地域福祉・コミュニティ	・ 地域のつながり，絆を深める ・ 自治会組織の活性化 ・ 地域のまちづくりの担い手づくり ・ 身近な地域活動の拠点づくり ・ 区民の自発的行動に対する支援体制の強化＜追加意見＞ ・ 地域のリーダー的人材の発掘と育成＜追加意見＞ ・ 住民主体の組織を維持継続するための体制づくり＜追加意見＞ ・ 安心安全の暮らしを確保するための組織間連携強化＜追加意見＞ ・ 行政窓口（市政協力委員制度等）と自治会組織との連携＜追加意見＞ ・ 若い人たちが参加しやすい地域活動（30代までが恒常的に集まれる円卓の設置など）＜追加意見＞ ・ 多文化共生社会をつくる ・ 異世代間交流や地域交流が活発になるような地域コミュニティの活性化＜追加意見＞ ・ 情報の伝達や共有化を高めるための IT 力向上（IT スキルの向上がこれからの住民の安全，教育，交流に大きな力を発揮する）＜追加意見＞

	・若いときから異文化に触れ、多様性を身につける国際交流の場づくり<追加意見> ・ニュータウンの問題（高齢化に伴う問題など）への対処 ・高齢化への対応 ・住民相互の“共同”の取組が重要<追加意見> ・地域で高齢者を見守る仕組みづくり（自治会等によるヘルパー派遣，コミュニティビジネスのモデル試行など）<追加意見> ・地域における教育力や介護力を高め，地域のコミュニティ力を高める<追加意見> ・伏見区総合庁舎の区民交流スペースや区民に身近な場所に子育て支援コーナーの設置（子どもの一時預かり，遊び場，親同士の交流，アドバイザー（保育士，栄養士，臨床心理士，子育てサポーター，食育サポーター）の配置と育成など）<追加意見> ・行政が核となり，多くの住民や学生を巻き込むまちづくりの仕組みづくり<追加意見>
安心・安全・利便性	・区民に身近な計画とするには安心・安全がキーワードになる ・久我・羽束師地域の都市基盤整備 ・地域ぐるみの安心安全活動の推進 ・大規模災害への対応 ・東西の交通インフラの整備 ・子どもが体を動かして発散できる，自然が身近に感じられる空間をつくる（子どもたちが自由に遊べる野原づくり） ・自然に親しめお年寄りや子どもが安心して集える公園の設置<追加意見> ・鳥羽街道団地跡の土地利用の検討<追加意見> ・稲荷大社付近の道路の混雑解消<追加意見> ・水垂処分地跡に多目的グラウンドの創設<追加意見>
計画・委員会・その他	・計画には何かシンボリックなものを打ち上げる ・地域の意見を汲み上げ，皆が共通認識をもてるようにする ・夢をもって取り組むことを盛り込む ・各種計画と関係性を持たせながら進めていく ・基本計画で掲げる事業の達成期間目標を明確にする（短期（数年以内），中長期（１０年以内），超長期（１０年超，基本となる将来ビジョン）等）<追加意見> ・計画策定の前提となる法令，行政的限界の確認（どの程度区民の目線を吸い上げられるか）<追加意見> ・今回の策定委員会では区の将来展望を前向きに議論したい<追加意見> ・伏見のシンボルを考案して，内（区民）外（観光客等）ともに求心力を高める<追加意見> ・行政等の取組やイベント（広報も含む）を区民の生活範囲内（商店街，学校など）で実施することで，区民がより参加しやすくなり，区民，商業，行政が連携、協働する体制づくりにもつながる<追加意見>